

# 齒科医学各論

各論 I 成長・発育に関連した疾患・病態 [約 19%]

大項目	中項目	小項目	備考
1 口腔・顎顔面の発育を障害する先天異常の病態・特徴	ア 口腔・顎顔面の先天異常	a 顔面裂	
		b 口唇裂・口蓋裂	※顎裂
	イ 遺伝性疾患（主に口腔に症状がみられる）	a Beckwith-Wiedemann症候群	
		b Marfan症候群	
		c Papillon-Lefevre症候群	
		d 骨形成不全症	
		e 先天性外胚葉形成不全〈先天性外胚葉異形成症〉	
		f 低ホスファターゼ症	
	ウ 遺伝性疾患（主に頭蓋・顎顔面に症状がみられる）	a Crouzon症候群	
		b Treacher Collins症候群	
		c 鎖骨頭蓋骨異形成症〈鎖骨頭蓋異骨症〉	
		d 第一第二鰓弓症候群	
		e 軟骨無形成症	
	エ 染色体異常	a Down症候群	
		b Turner症候群	
2 歯の異常	ア 数の異常	a 過剰歯	
		b 先天欠如	
	イ 形態の異常	a 癒合歯、癒着歯、双生歯	
		b 異常結節	中心結節、切歯結節、Carabelli結節、臼傍結節、プロトスタイリッド
		c 歯内歯	
		d 矮小歯	円錐歯
		e 巨大歯	
		f Hutchinson歯、Fournier歯〈桑実状歯〉	先天性梅毒
		g タウロドント	
		h 歯根の異常	
		i 異所性エナメル質	エナメル滴、エナメル突起
	ウ 構造の異常	a 歯のフッ素症	
		b エナメル質形成不全 {症}	Turnerの歯、エナメル質減形成症、MIH〈臼歯切歯エナメル質形成不全〉
c 象牙質形成不全 {症}		※象牙質異形成症	
3 口腔・顎顔面の疾患	ア 歯の疾患	a 異所萌出	
		b 埋伏歯	
		c 低位乳歯	
		d 早期萌出乳歯	先天歯、新生児歯
		e 萌出遅延	

大項目	中項目	小項目	備考	
	イ 口腔軟組織の疾患	a 萌出嚢胞		
		b 幼児の歯肉嚢胞	上皮真珠、Epstein 真珠	
		c Bednarアフタ		
		d 小帯異常	上唇小帯異常、舌小帯異常	
		e Riga-Fede病		
	ウ ウイルス感染による疾患	a 単純疱疹	※疱疹性歯肉口内炎、口唇ヘルペス	
		b 水痘・帯状疱疹		
		c 手足口病		
		d ヘルパンギーナ		
		e 麻疹	Koplik 斑	
	エ 顎関節疾患	a 下顎頭欠損、関節突起発育不全	※進行性下顎頭吸収 (特発性下顎頭吸収)	
		b 下顎頭肥大		
		c 顎関節症		
	4 小児の歯・口腔・顎の外傷	ア 歯の外傷の病態・診断・治療	a 乳歯	※後継永久歯への影響
			b 永久歯	※幼若永久歯の処置・経過
イ 口腔粘膜外傷の病態・診断・治療			※咽頭部の刺創、異物迷入	
ウ 小児顎骨骨折の病態・診断・治療			※関節突起骨折の予後	
エ 児童虐待による歯の外傷				
オ 歯の外傷の予防		※マウスガード		
5 不正咬合の病因・病態	ア 正常咬合の概念と成立条件			
	イ 不正咬合の疫学と種類・分類			
	ウ 不正咬合の原因			
	エ 不正咬合による障害			
6 不正咬合の診断	ア 診察			
	イ 検査			
	ウ 診断		※抜歯・非抜歯の判定	
	エ 治療計画			
7 矯正力	ア 器械的矯正力			
	イ 機能的矯正力			
	ウ 顎整形力			
	エ 固定		※歯科矯正用アンカースクリュー	
8 生体反応				
9 矯正装置	ア 唇舌側弧線装置	a リンガルアーチ(舌側弧線装置)		
		b トランスパラタルアーチ		
		c Nanceのホールディングアーチ		
		d タングクリブ		

大項目	中項目	小項目	備考
	イ 顎外固定装置	a ヘッドギア	
		b チンキャップ〈オトガイ帽装置〉	
		c 上顎前方牽引装置	
	ウ マルチブラケット装置		
	エ 拡大装置	a 急速拡大装置	
		b クワドヘリックス装置	
	オ 機能的矯正装置	a アクチバトール	
		b バイオネーター	
		c Fränkel装置	
		d リップバンパー	
	カ 床矯正装置	a 咬合挙上板	
		b 咬合斜面板	
	キ 保定装置	a Hawleyタイプリテーナー	
		b Beggタイプリテーナー	
		c トゥースポジショナー	
d 犬歯間保定装置			
e スプリングリテーナー			
10 不正咬合の治療	ア 不正咬合の予防	a 予防矯正、保隙（静的咬合誘導）	保隙装置
		b 口腔習癖とその対応	※口腔筋機能療法
	イ 乳歯列期・混合歯列期の不正咬合の治療	a 動的咬合誘導	
	ウ 永久歯列期の不正咬合の治療		
	エ 先天異常を伴う不正咬合の治療		
	オ 顎変形症の治療		
	カ 保定		
	キ 治療中の管理		
ク リスクと偶発症			

各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患〔約24%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 歯の硬組織疾患	ア 歯の硬組織疾患の病因と病態	a 齶蝕の病因	※脱灰、再石灰化
		b 齶蝕のリスクファクター	
		c tooth wear (歯の損耗)	咬耗症、摩耗症、酸蝕症、アブフラクション、くさび状欠損
		d 象牙質知覚過敏症	
		e 歯の変色・着色	
		f 歯の亀裂・破折	
	イ 歯の硬組織疾患の予防・管理	a 齶蝕の予防・管理	※予防効果の評価、予防填塞
		b 初期齶蝕の診断	
		c フッ化物応用	
		d 食生活指導	
		e 口腔清掃指導	
	ウ 歯の硬組織疾患の治療	a 直接修復法	
		b 間接修復法	
		c 窩洞形成法	
		d 象牙質・歯髄保護法	裏層法 (ベース、ライニング、レジンコーティング)
		e 補修修復	
		f 象牙質知覚過敏症への対応	
		g 歯の漂白	
	エ 小児の歯の硬組織疾患	a 齶蝕	乳歯、幼若永久歯、永久歯
		b 齶蝕への対応	
c 非齶蝕性硬組織疾患		乳歯、幼若永久歯、永久歯	
d 非齶蝕性硬組織疾患への対応			
オ 高齢者の歯の硬組織疾患	a 根面齶蝕		
	b 根面齶蝕への対応	予防管理	
2 歯髄疾患・根尖性歯周疾患	ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態	a 歯髄疾患	
		b 根尖性歯周疾患	
		c 歯内-歯周疾患	
		d 歯の外傷	亀裂・破折
		e 歯根の吸収	外部吸収・内部吸収
	イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療	a 歯髄保存療法	
		b 歯髄除去療法	
		c 根尖性歯周疾患の治療	緊急処置
		d 根管処置	髄室開拓、根管長の測定、根管形成、根管の化学的清掃、根管貼薬、仮封
		e 根管充填	
		f 根未完成歯の治療	

大項目	中項目	小項目	備考
		g 外科的歯内療法	
		h 歯根吸収歯の治療	外部吸収歯・内部吸収歯の治療
		i 外傷歯の治療	亀裂・破折の治療
		j 偶発症と安全対策	
	ウ 小児の歯髄疾患・根尖性歯周疾患	a 歯髄疾患	乳歯、幼若永久歯、永久歯
		b 歯髄疾患への対応	
		c 根尖性歯周疾患	乳歯、幼若永久歯、永久歯
	d 根尖性歯周疾患への対応		
3 歯周疾患	ア 歯周疾患の病因と病態	a 歯肉病変とそのリスクファクター	
		b 歯周炎とそのリスクファクター	
		c 壊死性歯周疾患	
		d 咬合性外傷	
		e 歯周組織の膿瘍	
		f 歯肉退縮	
		g 歯周-歯内病変	
		h 歯周疾患と健康の関わり	
	イ 歯周疾患の予防・管理	a 歯肉炎の予防・管理	予防効果の評価
		b 歯周炎の予防・管理	
		c 口腔清掃指導	
		d 禁煙支援	
		e 生活習慣指導	
	ウ 歯周疾患の治療	a 急性症状を有する歯周疾患への対応	
		b 歯周基本治療	
		c 咬合性外傷に対する治療	
		d 歯周外科治療(切除療法、組織付着療法)	
		e 歯周外科治療(歯周組織再生療法)	組織再生誘導法〈GTR法〉、エナメルマトリックスタンパク質、FGF-2製剤、骨移植術
		f 歯周外科治療(歯周形成手術)	
		g 根分岐部病変の治療	
		h 口腔機能回復治療	
		i 薬物療法	
		j メインテナンス、SPT〈supportive periodontal therapy〉	
		k 全身疾患を有する者の歯周疾患治療	
	エ 小児の歯周疾患	a 歯周疾患の特徴	
		b 歯周疾患への対応	

各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患〔約23%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 主として軟組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 先天異常と変形を主徴とする疾患の病態・診断・治療	a 顔面裂	
		b 口唇裂・口蓋裂	※顎裂、鼻咽腔閉鎖不全、構音障害
		c 口唇・頬部の異常	※小帯の異常
		d 舌・口〔腔〕底の異常	
		e 歯肉・口蓋の異常	
	イ 軟組織の損傷の病態・診断・治療	a 口腔軟組織の損傷	
		b 顔面軟組織の損傷	
	ウ 軟組織の炎症の病態・診断・治療	a 歯冠周囲炎（智歯周囲炎）	
		b 口腔・頸部軟組織の炎症	歯肉膿瘍、歯槽膿瘍、骨膜下膿瘍、蜂窩織炎（蜂巣炎）、組織隙の炎症、歯性扁桃周囲炎、放線菌症、壊死性筋膜炎
		c 所属リンパ節（領域リンパ節）の炎症	
		d 歯性上顎洞炎	
		e 歯性全身感染症	菌血症、敗血症、歯性病巣感染、全身性炎症（性）反応症候群（SIRS）、感染性心内膜炎
		f 肉芽腫性炎	口腔結核、口腔梅毒、Hansen病、サルコイドーシス
	エ 軟組織に発生する嚢胞の病態・診断・治療		
	オ 軟組織に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 良性腫瘍	
		b 口腔癌	舌癌、頬粘膜癌、硬口蓋癌、口底癌、上顎・下顎歯肉癌
		c 口唇癌	
		d 上顎洞癌	
		e 軟組織の肉腫	
		f 白血病	
		g 悪性リンパ腫	
		h 悪性黒色腫	
		i 口腔潜在的悪性疾患	上皮性異形成（上皮異形成）、前癌病変、前癌状態
		j 腫瘍類似疾患	エプーリス、義歯性線維腫、薬物性歯肉増殖症
	カ 腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断・治療	a TNM分類、病期分類	※リンパ節転移、遠隔転移
		b 外科療法	※再建術、頸部郭清術
		c 化学療法	※分子標的薬
		d 放射線治療	

大項目	中項目	小項目	備考
		e 免疫療法	※免疫チェックポイント阻害薬
	キ 癌治療患者の管理	a 癌の告知	
		b 治療時の患者管理・生活習慣指導	
		c 社会復帰	
		d 末期癌患者の管理	
		e 緩和医療	※緩和療法、支持療法
	ク 口腔粘膜疾患の病態・診断・治療	a ウイルス性口内炎	単純疱疹、帯状疱疹、手足口病、ヘルパンギーナ
		b 天疱瘡・類天疱瘡	
		c 多形{滲出性}紅斑	
		d 薬物性口内炎	粘膜・皮膚・眼症候群〈Stevens-Johnson症候群〉、中毒性表皮壊死剥離症〈TEN〉
		e 全身性エリテマトーデス〈SLE〉	
		f アフタ性口内炎	※慢性再発性アフタ
		g Behçet病	
		h 壊死性潰瘍性歯肉口内炎、壊疽性口内炎	
		i 口腔扁平苔癬	
		j 口腔カンジダ症〈鷲口瘡〉	
		k 白板症	
		l 紅板症	
		m 白色海綿状母斑	
		n 色素沈着	内因性（メラニン色素沈着症、Peutz-Jeghers症候群、Addison病、von Recklinghausen病）、外因性
		o 色素性母斑	
		p von Recklinghausen病〈神経線維腫症Ⅰ型〉	
		q 口腔乾燥症	
		r 貧血を伴う舌炎	鉄欠乏性貧血、Plummer-Vinson症候群、Hunter舌炎
		s 溝{状}舌	
		t 毛舌	黒毛舌
		u 地図状舌	
		v 正中菱形舌炎	
		w 肉芽腫性口唇炎	※Melkersson-Rosenthal症候群
		x 口角炎・口角びらん	
		y 褥瘡性潰瘍	
		z その他	※Fordyce斑〈顆粒〉、舌扁桃

大項目	中項目	小項目	備考
2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 顎顔面の変形を来す疾患・病態・診断	a 顎変形症	
		b 下顎頭欠損	
		c 顎顔面に異常を来す骨系統疾患・症候群	※茎状突起過長症、筋突起過長症
	イ 顎顔面骨の変形に対する治療	a 顎矯正手術	
		b 補綴前外科手術	
		c 骨移植術	※骨造成術、上顎洞底挙上術
		d 骨延長術	
		e 下顎頭形成術	
	ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療	a 歯の亀裂・破折・脱臼	※歯の再植
		b 歯槽骨骨折	
		c 下顎骨骨折	※関節突起骨折
		d 上顎骨骨折	※吹き抜け骨折
		e 頬骨・頬骨弓骨折	
		f 鼻骨骨折	
		g 口腔上顎洞瘻	
	エ 歯槽骨・顎骨の炎症の病態・診断・治療	a 歯槽骨炎、顎骨炎	
		b 顎骨骨膜炎	
		c 顎骨骨髓炎	
		d 歯性上顎洞炎	
		e 放射線{性}骨壊死、放射線骨髓炎	
		f 薬剤関連顎骨疾患	※薬剤関連顎骨壊死
		g 外歯瘻、内歯瘻	
		h 顎骨周囲軟組織の炎症	歯肉膿瘍、骨膜下膿瘍、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、インプラント周囲炎
	オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療	a 歯原性嚢胞	
		b 非歯原性嚢胞	
	カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患	a 歯原性良性腫瘍	
		b 歯原性悪性腫瘍	
		c 非歯原性良性腫瘍	
		d 非歯原性悪性腫瘍	※骨肉腫
		e 骨関連病変	※外骨症・骨隆起
		f 線維骨性病変	線維性{骨}異形成症、セメント質骨性異形成症、骨形成線維腫、セメント質骨形成線維腫
		g 巨細胞性病変	
キ 顎骨に発生する腫瘍・腫瘍類似疾患に対する診断と治療	a 顎骨腫瘍の外科療法		
	b 顎骨の再建		
	c 顎顔面補綴		
	d 顎顔面インプラント治療		

大項目	中項目	小項目	備考
3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 唾液腺疾患の病態・診断・治療	a 発育異常	
		b 異所性唾液腺	
		c 唾液腺損傷	※唾液瘻、Frey症候群、外来異物
		d 唾液腺炎・唾液管炎	※ウイルス性唾液腺炎
		e Sjögren症候群〈Sjögren病〉	
		f 粘液嚢胞	粘液瘤、ラヌーラ、Blandin-Nuhn{腺}嚢胞〈前舌腺嚢胞〉
		g 良性腫瘍	
		h 悪性腫瘍	
		i 腫瘍類似疾患	
		j IgG4関連疾患	
		k 唾石症	
		l 口腔乾燥症	※放射線障害、薬物副作用
		m 流涎症	
	イ 神経・運動器疾患の病態・診断・治療	a 三叉神経痛	
		b 三叉神経麻痺、三叉神経ニューロパチー	
		c 顔面神経麻痺	
		d 舌咽神経痛	
		e 舌下神経麻痺	
		f 非歯原性歯痛	
		g 外傷性神経障害	※神経障害性疼痛
		h 帯状疱疹後神経痛	
		i 顔面けいれん	
		j ジストニア	
		k ジスキネジア	
		l 口臭症	
	ウ 顎関節・咀嚼筋疾患の病態・診断・治療	a 下顎頭欠損・関節突起発育不全	
		b 下顎頭肥大	
		c 関節突起骨折	
		d 顎関節脱臼	
		e 非感染性顎関節炎	※外傷性{顎}関節炎
		f 感染性顎関節炎	急性化膿性顎関節炎
		g 顎関節リウマチ〈リウマチ性顎関節炎〉	
		h 進行性下顎頭吸収〈特発性下顎頭吸収〉	
i 痛風性顎関節炎			
j 腫瘍および腫瘍類似疾患		骨軟骨腫、滑膜{性}{骨}軟骨腫症	
k 顎関節強直症			
l 顎関節症		咀嚼筋痛障害、顎関節痛障害、顎関節円板障害、変形性顎関節症	

大項目	中項目	小項目	備考
		m 咀嚼筋腱・腱膜過形成症	
4 主として全身に関連する疾患の病態・診断・治療	ア 口腔・顎顔面に異常をきたす骨系統疾患・症候群	a Beckwith-Wiedemann症候群	
		b Crouzon症候群	
		c Down症候群	
		d Gardner症候群〈家族性大腸ポリポーシス〉	
		e Marfan症候群	
		f McCune-Albright症候群	
		g Peutz-Jeghers症候群	
		h Ramsay Hunt症候群〈Hunt症候群〉	
		i Sturge-Weber症候群	
		j Treacher Collins症候群	
		k von Recklinghausen病〈神経線維腫症Ⅰ型〉	
		l 基底細胞母斑症候群〈母斑性基底細胞癌症候群〉〈Gorlin症候群〉	
		m 骨形成不全症	
		n 鎖骨頭蓋骨異形成症〈鎖骨頭蓋異骨症〉	
	o 第一第二鰓弓症候群		
	イ 口腔症状を呈するウイルス感染症	a ヒト免疫不全ウイルス(HIV)感染症	※後天性免疫不全症候群〈AIDS〉、毛状〈様〉白板症
		b 風疹	先天性風疹症候群
		c 麻疹	
		d 水痘・帯状疱疹	※Ramsay Hunt症候群〈Hunt症候群〉
		e 単純疱疹	
		f 手足口病	
		g ヘルパンギーナ	
	ウ 口腔症状を呈する細菌感染症	a 梅毒	
		b 破傷風	
		c 結核	
	エ 口腔症状を呈するアレルギー疾患・免疫異常	a 金属アレルギー	※口腔苔癬様病変
		b IgA血管炎〈アレルギー性紫斑病〉	
		c Quincke浮腫	※遺伝性血管性浮腫〈HAE〉
		d 移植片対宿主病〈GVHD〉	
		e IgG4関連疾患	
	オ 口腔症状を呈する自己免疫疾患	a 天疱瘡・類天疱瘡	
		b 関節リウマチ	
		c 全身性エリテマトーデス〈SLE〉	
		d Sjögren症候群〈Sjögren病〉	
		e 特発性血小板減少性紫斑病〈免疫性血小板減少性紫斑病〉〈ITP〉	

大項目	中項目	小項目	備考
		f 悪性貧血	
	カ 口腔症状を呈する内分泌障害、代謝障害	a 先端巨大症〈下垂体性巨人症〉	
		b 成長ホルモン分泌不全性低身長〈下垂体性小人症〉	
		c 甲状腺機能亢進症	Basedow病〈Graves病〉
		d 甲状腺機能低下症	粘液水腫、クレチン病、慢性甲状腺炎〈橋本病〉
		e 副甲状腺機能亢進症	
		f 副腎皮質機能低下症	
		g 副腎皮質機能亢進症	Cushing病、Cushing症候群
		h 副腎皮質機能低下症	Addison病
		i 糖尿病	
		j アミロイドーシス	
		k 鉄欠乏性貧血	※Plummer-Vinson症候群
	キ 口腔症状を呈する栄養障害	a くる病	
		b 壊血病	
	ク 赤血球系疾患	a 貧血	鉄欠乏性貧血、巨赤芽球性貧血〈悪性貧血〉、再生不良性貧血、溶血性貧血
		b 赤血球増多症	
	ケ 白血球系疾患	a 白血病	※骨髓異形成症候群
		b 無顆粒球症	※発熱性好中球減少症
		c 悪性リンパ腫	
		d 多発性骨髓腫	
	コ 出血性素因	a Osler病	
		b IgA血管炎〈アレルギー性紫斑病〉	
		c 特発性血小板減少性紫斑病〈免疫性血小板減少性紫斑病〉(ITP)	
		d 血小板無力症	
		e 血友病A・B	
		f 播種性血管内凝固症候群〈DIC〉	
	サ 赤血球系疾患・白血球系疾患・出血性素因の診断と患者に対する観血的治療、歯科治療時の留意点		※抗血栓療法への留意
	シ 口腔領域に関連して現れる精神・心身医学的病態	a 気分〈感情〉障害	※うつ病、双極性障害〈躁うつ病〉
		b 不安障害	※パニック障害
		c 重度ストレス反応および適応障害	※心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉、適応障害
		c 身体表現性障害〈身体症状症〉	
		d 心身症	

大項目	中項目	小項目	備考
		e 歯科心身症（口腔心身症）	口腔灼熱症候群（burning mouth syndrome）、口腔セネストパチー、咬合違和感症候群、歯科恐怖症
	ス 全身管理に留意すべき全身疾患・状態	a 呼吸器疾患	※慢性閉塞性肺疾患（COPD）
		b 循環器・脳血管疾患	※先天性心疾患、高血圧緊急症
		c 消化器疾患	※肝疾患
		d 血液・造血器疾患	
		e 泌尿器・生殖器疾患	
		f 精神・心身医学的疾患	
		g 神経・運動器疾患	
		h 内分泌疾患	
		i 代謝性疾患	
		j 免疫疾患	
		k 妊娠	
	セ 歯科治療時の患者管理・麻酔管理	a 術前管理	
		b 術中管理	
		c 術後管理	
	ソ 歯科における全身的偶発症とその対応	a 血管迷走神経反射	
		b 過換気症候群	
		c 局所麻酔薬中毒	
		d アナフィラキシー{ショック}	
		e 血管収縮薬による反応	
		f メトヘモグロビン血症	
		g 誤飲、誤嚥	
		h 皮下気腫	
		i 合併する全身疾患の増悪	
5	顎・口腔領域の疾患の疫学と予防	ア 有病状況とリスク要因	a 顎・口腔領域疾患の有病状況 b 顎・口腔領域疾患のリスク要因
		イ 生活習慣指導	a 口腔がんの予防 ※禁煙支援 b 顎関節疾患の予防 c 口腔粘膜疾患の予防 d 損傷の予防 ※マウスガード e 口臭の予防 f 栄養障害の予防

各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害〔約24%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 病態	ア 咬合・咀嚼障害		
	イ 摂食嚥下障害		
	ウ 言語障害（言語機能障害）		※構音障害
	エ 審美障害		
	オ 心理社会的障害		
	カ 口腔機能障害・口腔顔面痛		※ジストニア・ジスキネジア
	キ ブラキシズム		
	ク 睡眠時無呼吸		
2 診察、検査、診断	ア 診察		
	イ 検査と評価	a 形態的・審美的評価	
		b 機能的評価	
		c 力学的評価	
		d 身体社会的・心理的評価	
		e 栄養評価	
		f 補綴装置の評価	※生物学的要件、機能的要件、形態的要件、力学的要件、咬合力の支持様式、咬合様式、審美的要件、材料的要件
		g 研究用模型による検査	
	h 口腔衛生状態の評価	※補綴装置の衛生状態の評価	
	i その他		
ウ 診断		※回復の到達目標	
エ 治療計画の立案		※治療法の選択	
3 クラウンブリッジによる治療	ア クラウンブリッジの設計		※補綴装置の種類と選択、診断用ワックスアップ
	イ 臨床操作	a 前処置	※補綴装置の除去
		b 支台歯形成	
		c 支台築造	
		d 印象採得	口腔内スキャナー
		e プロビジョナルレストレーション	
		f 顎間関係の記録	
		g 患者情報の記録と伝達	
		h 口腔内試適	調整方法
		i 仮着	※仮着した装置の撤去
		j 装着	装着前処理、装着材料
	ウ 技工操作	a ロストワックス法による製作	作業用模型の製作、ワックスアップ、ワックスパターン、埋没、鋳造、ろう付け、熱処理、前装方法、研磨

大項目	中項目	小項目	備考
		b CAD/CAMによる製作	※切削加工・積層造形
		c その他の方法による製作	※築盛法、耐火模型法、加圧成形法
4 部分床義歯による治療	ア 義歯の設計	a 設計の原則	※オーバードンチャー、アタッチメント
		b 義歯の構成要素	
	イ 臨床操作	a 前処置	
		b 印象採得	
		c 顎間関係の記録	
		d 試適（ろう義歯、フレームワーク）	
		e 装着	
	ウ 技工操作	a 個人トレーの製作、作業用模型の製作	
		b 咬合器装着・調節	
		c サベイング、設計線の記入	
		d 支台装置、連結子、フレームワークの製作	※積層造形
		e 人工歯の選択・排列・歯肉形成	
		f 埋没、重合、咬合器再装着	
g 咬合調整（削合）と仕上げ			
5 全部床義歯による治療	ア 義歯の設計	a 設計の原則	※オーバードンチャー、アタッチメント
		b 義歯の構成要素	
	イ 臨床操作	a 前処置	
		b 印象採得	
		c 顎間関係の記録	
		d ろう義歯の試適	※フレームワーク
		e 装着	
	ウ 技工操作	a 個人トレーの製作、作業用模型の製作	
		b 咬合器装着・調節	
		c 人工歯の選択・排列・歯肉形成	※咬合様式
		d 埋没、重合、咬合器再装着	
		e 咬合調整（削合）と仕上げ	
	6 インプラント義歯による治療	ア インプラント治療の基礎と成績	a オッセオインテグレーションの獲得
b 成功基準			
c リスクファクター			
イ インプラント義歯の設計		a 上部構造の設計	固定性・可撤性の選択
		b 埋入計画の立案	診断用セットアップ、診断用テンプレートの製作、シミュレーション診断、骨造成の要否、インプラント体の選択

大項目	中項目	小項目	備考
	ウ 臨床操作	a インプラント体埋入手術（一次手術）	一回法、二回法、コンピュータ支援手術、骨造成術
		b 二次手術	
		c 印象採得	オープントレー法、クローズドトレー法、口腔内スキャナー
		d プロビジョナルレストレーション	荷重時期の選択
		e 顎間関係の記録	
		f 患者情報の記録と伝達	
		g 装着	口腔内試適と装着、上部構造装着後の併発症
	エ 上部構造の製作	a セメント固定式上部構造の製作	既製アバットメント、カスタムアバットメント
		b スクリュー固定式上部構造の製作	アバットメント
		c インプラントオーバーデンチャーの製作	※アタッチメント
		d インプラントパーシャルデンチャーの製作	
	7 特殊な装置による治療	ア 顎顔面補綴装置	
イ 口腔内装置（オーラルアプライアンス）			顎関節症治療用、睡眠時無呼吸症治療用、ブラキシズム治療用
ウ 舌接触補助床			
エ 軟口蓋挙上装置			スピーチエイド
オ バルブ型鼻咽腔補綴装置			
8 指導と管理	ア 補綴装置に対する指導		※義歯の清掃・管理、支台歯・インプラントの清掃・管理、睡眠中の管理
	イ 口腔衛生管理		※禁煙支援、インプラント一次手術前の指導と管理
	ウ 口腔機能管理		口腔機能向上に関する指導、機能障害の予防
	エ 栄養指導	a 口腔機能に応じた栄養指導	
	オ リコールとメインテナンス	a セルフケア（ホームケア）、プロフェッショナルケア	※義歯洗浄剤、義歯安定剤
		b 残存組織の変化とその対応	※リライン（直接法と間接法）、リベース
		c 咬合の変化とその対応	
		d 機能低下とその対応	
		e 補綴装置の破損とその対応	※技工操作
f インプラントのメインテナンス		インプラント周囲粘膜炎、インプラント周囲炎	
カ 治療効果の評価			

各論V 配慮が必要な高齢者・有病者・障害者等に関連した疾患・病態・予防ならびに歯科診療〔約10%〕

大項目	中項目	小項目	備考
1 疾患・病態	ア 運動障害	a 脳血管疾患	
		b 関節疾患	
		c 骨折	
		d 廃用症候群	
		e 神経・筋疾患	
	イ 認知障害	a 認知症	
	ウ 摂食嚥下障害	a 先行期障害	
		b 咀嚼障害	
		c 嚥下障害	
	エ 誤嚥性肺炎	a 呼吸器系疾患	
		b 胃食道逆流症〈GERD〉	
	オ フレイル		サルコペニア、ロコモティブシンドローム
	カ その他		悪性腫瘍、腎尿路疾患
2 治療の基礎	ア 治療計画	a 治療計画の立案・提示	※インフォームド・コンセント
		b 治療の評価	主訴の改善
	イ 治療の種類	a キュアとケア	
		b 原因療法と対症療法	
		c 保存療法と外科療法	
		d 緩和療法、支持療法	
	ウ ライフステージ別の治療	a 小児の治療	※インフォームド・アセント
		b 成人の治療	
		c 高齢者の治療	
	エ 全身管理に留意すべき疾患	a 皮膚・粘膜疾患	
		b 呼吸器疾患	呼吸不全、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、肺炎
		c 循環器疾患	心筋梗塞、狭心症、不整脈、高血圧症、深部静脈血栓症、心不全、心内膜炎、弁膜症、先天性心疾患、心筋症、動脈硬化症、動脈瘤
		d 消化器疾患	消化性潰瘍、急性・慢性肝炎、肝硬変
		e 血液・造血器疾患	貧血、白血病、出血性素因、血栓傾向
		f 腎疾患	慢性腎臓病〈CKD〉、腎不全
		g 精神疾患	統合失調症、うつ病

大項目	中項目	小項目	備考
		h 神経・運動器疾患	脳出血（脳内出血）、脳梗塞、くも膜下出血、認知症、Parkinson病、てんかん、脳性麻痺、脊髄損傷、重症筋無力症、筋ジストロフィー
		i 内分泌・代謝・栄養疾患	糖尿病、甲状腺疾患、骨粗鬆症、脂質異常症
		j 免疫・アレルギー疾患	免疫不全症、自己免疫疾患、アレルギー疾患
		k 感染症	ウイルス感染症、細菌感染症、真菌感染症
		l 小児疾患	
		m その他	アルコール・薬物等依存症、妊婦、臓器移植患者、菌交代症
		オ 障害者の治療	
3 加齢による口腔・顎顔面領域の症候	ア 機能的変化	a 咀嚼機能	オーラルフレイル、口腔機能低下症
		b 摂食嚥下機能	
		c 言語機能	
		d 感覚機能	
		e 反射機能	
	イ 形態的変化	a 顔貌	
		b 歯、歯列	
		c 歯槽骨、顎骨	
		d 口腔粘膜、舌、唾液腺	口腔乾燥、萎縮
		e 顎関節、筋	
4 高齢者・有病者等に関連した臨床評価・診断・治療計画	ア 全身状態の評価	a 身体状態	日常生活動作（ADL）、手段的日常生活動作（IADL）、Barthel Index（BI）、Functional Independence Measure（FIM）
		b 認知機能	改訂長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）、Mini-Mental State Examination（MMSE）
		c 心理	
		d 行動	
		e 栄養	
		f 薬物	※ポリファーマシー、和漢薬（漢方薬）
	イ 口腔機能の評価	a 口腔機能	咬合力検査、咀嚼機能検査、舌圧検査、オーラルディアドコキネシス、ブローイング検査、Saxonテスト、口腔水分計
		b 言語機能	
		c 唾液量、口腔粘膜湿潤度	
		d 筋	
		e 不随意運動	ジストニア、ジスキネジア

大項目	中項目	小項目	備考
	ウ 摂食嚥下機能の評価	a スクリーニング	反復唾液嚥下テスト〈RSST〉、改訂水飲みテスト〈MWST〉、フードテスト、嚥下スクリーニング質問紙、頸部聴診法、咳テスト
		b 精密検査	嚥下造影検査〈VF〉、嚥下内視鏡検査〈VE〉
	エ 診断		
	オ 治療計画の策定		医科歯科連携、病診連携、診診連携、多職種連携
5 高齢者等に関連した予防と管理	ア 歯の喪失予防	a 口腔保健指導	
	イ フレイル予防のための歯科保健管理	a 口腔衛生管理	
		b 口腔機能管理	
		c 栄養管理	
		d 口腔機能低下症の予防管理	
6 高齢者等に関連した歯科診療	ア 歯の硬組織疾患および歯周疾患への対応		
	イ 歯の欠損への対応		
	ウ 軟組織疾患への対応		
	エ 口腔・顎顔面の硬組織疾患への対応		
	オ 言語障害への対応		※構音障害のリハビリテーション
	カ 口腔機能低下症への対応		口腔不潔、口腔乾燥、咬合力低下、舌口唇運動機能低下、低舌圧、咀嚼機能低下、嚥下機能低下
	キ 周術期の口腔機能管理		病院歯科等の役割、病診連携
7 摂食嚥下障害への対応(摂食機能療法)	ア 治療的アプローチ	a 間接訓練	
		b 直接訓練	
	イ 代償的アプローチ		口腔衛生管理
	ウ 環境改善的アプローチ		
	エ 心理的アプローチ		
オ 栄養療法		経腸栄養〔経口栄養、経鼻経管栄養、胃瘻〈PEG〉、腸瘻〕、経静脈栄養	

大項目	中項目	小項目	備考
8 障害者の歯科治療	ア 基本的対応	a 一般的対応	潜在的適応能力（レディネス）
		b 行動調整	
	イ 歯科治療上留意すべき事項	a 環境への適応性	
		b 姿勢・異常反射	原始反射の残存
		c 全身状態の管理	
	ウ 口腔疾患の治療		
エ 口腔保健指導			
9 在宅、病院、施設における歯科診療	ア 歯科訪問診療	a 全身状態評価	
		b 歯科訪問診療器材	
		c 保健指導、口腔健康管理	
	イ 多職種協働		